

令和3年度決算9議案を認定

実質収支額は
9億6,964万7千円の黒字

議案第54号 令和3年度加西市一般会計の
決算認定について

質 疑 (○印は要望、意見)

滞在型観光バスツアー



問 滞在型観光バスツアー助成金制度について。

答 市内の有料施設1か所以上の観光と昼食を含むツアーに対し、最大10万円を助成するもので、加西市での滞在時間を増やし宿泊に結びつける取組です。旅行会社を中心とした営業の結果、ツアー利用者は増加傾向です。

女性参画推進



問 自治会の女性参画推進について。

答 自治会事業を整理して、区長、役員負担を減らすとともに、ふるさと創造会議等とも役割分担できる仕組みづくりを進めて、女性参画を増やしていきます。

ウクライナ支援1,000万円の寄附

問 なぜ市長は議会に諮らず、ユニセフへの1,000万円の寄附を予備費から支出されたのか。このような予備費の使い方はいかがなものか。

答 (市長) 加西市もいち早く戦争反対を示すことが重要だと思い、議会に補正予算を提案することを検討しましたが、財政調整基金の取崩し理由として寄附金が該当しなかったため、やむを得ず予備費を財源として支出しました。結果的に議会軽視になったことは認めざるを得ませんが、「私的な利用」との指摘は心外です。

消防団活動

問 消防団活動の見直しについて。

答 消防団あり方検討委員会から訓練等の負担軽減対策が重要かつ緊急の課題であるとの提言を受け、消防団員にアンケート調査を行いました。その結果、操法・礼式大会の廃止やそれに代わる実践訓練の充実を図るとともに、活動状況に合わせた手当制度などの処遇改善を進め、より機能的な活動になるよう見直しを検討しています。

○消防団と人口増対策を両立する観点から、団員の負担を減しながらも災害時に適切に活動できる消防団の改革をしていただきたい。



自殺予防対策

問 自殺者数が増加傾向にあるが、コロナ自殺が要因の一つと考えられている。自殺予防対策として、心の健康の維持増進に対する取組は。

答 加西市では高齢者の自殺が多いという統計がありましたが、近年は若い年代、働き盛りの世代の死亡も増加しています。今後も様々な相談窓口を広報するとともに、ゲートキーパーの養成など見守りを増やしていくよう取組を継続します。

運動ポイント事業



問 運動ポイント事業のチェックポイントの設定場所は。また、事業の効果検証について。

答 チェックポイントは普段あまり訪れない名所等を設定しています。効果検証は、平成28～30年の3年間のデータを基に兵庫大学にお願いし、今後は収集した体組成や血液等の測定値についても検証します。

○運動ポイント事業は参加者も増えてきているが、利用者の意見や希望、アイデアを取り込んで、より一層推進されたい。

空き家バンク登録



問 空き家バンク登録物件がかなり増加しているが、増加の要因について。

答 登録物件が2.5倍に増えた要因の一つは、コロナ禍による空き家の需要増で、移住希望者が最近急増しています。また、空き家対策の中間支援組織「えーがい加西」による相談支援、空き家バンク登録をした所有者が受けられる片付け費用等の補助制度も開始しており、それに伴って増えています。

○空き家バンクの登録物件が増加し、状態のよい空き家が増えることは、移住定住施策に対して非常に有効なので、引き続き市内外に制度を広報していただきたい。

移住定住促進事業

問 令和3年12月に一般社団法人ユニテという移住・定住相談の中間支援組織が設立されたが、市とどのように連携、情報共有されるのか。

答 ユニテは定期的に移住者相談を開催し、その結果を受けて会議を行い情報共有しています。移住相談については、様々な支援や空き家バンク等もあるため、ユニテと連携して手厚い支援を続けていきます。